

議会だより



羽子板あそび 宮の森保育園新年会

日曜・祝祭日にもタクシーが運行に(期間限定検証).....	2
まちなか交流館の事業費増額を決定.....	4
平成25年度決算を認定	
決算審査特別委員会の主な質疑.....	6
まちなか交流館を審査.....	10
厚南地区認定こども園・児童会館の事業計画を調査.....	14
婚活支援事業(あつま新鮮組)を調査.....	16
「町政のここが聞きたい」 4氏が町政を問う(一般質問).....	18
子育て支援住宅の条例を協議.....	22
元気なあつまの子(華道同好会)・地域の話(モモカフェ momo cafe).....	24

第4回定例会

12月11日に開催され、子育て支援住宅条例の制定、補正予算、平成25年度各会計決算の認定などを審議、一般質問には4氏が登壇、意見書案を3件採択しました。
※決算審査の状況は、決算委員会（6〜9ページ）に掲載しています。

休日等タクシー運行実証事業補助金

町内の交通手段の空白を解消し、町民の地域交通確保や厚幌ダム建設に係る作業員のタクシー需要を検証するため、1月10日（土）から3月29日（日）までの土曜日の18時以降と日曜・祝祭日におけるタクシー運行について、事業者へ補助を行います。

補正額 67万円
財源 町全額

（主な質疑）

問 実証事業の結果、タクシー需要が見込めないとした場合の考えは。
まちづくり推進課長
27年度から事業を開始する予定でしたが、厚幌ダ

ムの作業員が入ってくることもあり、前倒しで行うことになりました。今年度は冬期間のみの実証事業となるので、27年度も引き続き行いますが、需要が見込めないとすれば別の手段を考えなければなりません。

問 補助金額の算出根拠は。
まちづくり推進課長
補助金算定は、運転手の拘束時間や予約管理者の賃金等の事業費から過去の運行実績による売り上げを差し引いて算出しました。売上が上がれば、その分補助金は減るとい

形になります。

厚真町起業化支援事業補助金

起業に向けた取組みを支援するため、起業時における開業経費等の必要な経費の負担を軽減する補助金を支給しています。今年度の申請数の増加が見込まれるため予算を増額します。

補正額 825万円
財源 町全額

（主な質疑）

問 5件の申請があるとのことだが、その内容は。
産業経済課参事
業種でいうと、美容業、自動車整備業、パン小売業、飲食店業、お菓子小売業の5件です。

ふるさと寄附金推進事業

ふるさと厚真応援寄附金がクレジットカード決済の導入により、当初の見込みより大幅に増えたので、寄附金の謝礼費用を増額します。

補正額 924万円

高齢者等の冬の生活支援金

北海道が北電の電気料金再値上げによる激変緩和措置として、今年度に限り補助金交付基準額を1・5倍に引き上げたので、町の支援金も今年度に限り増額して支給します。これにより、1世帯当たり1万9500円が支給されます。

補正額 52万円
財源 道 25万円
町 27万円

校舎整備事業

厚南中学校の特別教室に補助暖房としてFFストーブ7台を設置します。

補正額 170万円
財源 町全額

職員超過勤務手当

職員の超過勤務手当の不足が生じたので補正します。

補正額 700万円
財源 町全額



財源 町全額

（主な質疑）

問 ふるさと納税のお金の流れの説明を。
総務課参事
寄附者の希望により、地域振興基金、エンゼル基金、緑化事業基金、文化振興基金に振り分けて積立しています。

新町フォーラム線

新町フォーラム線道路改良工事において、内示額が減ったことにより、減額補正します。

補正額 △4383万円

（主な質疑）

問 工事の減額が400万円と多いようだが、構造的な設計変更か。
建設課長
当初の要望額から決定額が約55%程度となりました。

運行実証事業など 算の追加を決定！

休日等のタクシー

3千万円を超える予



町民の重要な交通手段、あつまハイヤー

子育て支援住宅 条例を決定

上厚真に5戸建設中の子育て支援住宅の入居資格、家賃、入居選考の方法などを決定しました。

入居の選考基準等に関しては、11月28日に開催された、全員協議会の協議が反映され、配偶者が妊娠中のポイントを1点から3点に上げるなど、変更提案がされています。(全員協議会の主な質疑は22ページに掲載)

固定資産評価審査 委員会委員の選任

野澤政博さんを再任することに、全員賛成で同意しました。



上厚真きらりタウンに建設中の子育て支援住宅

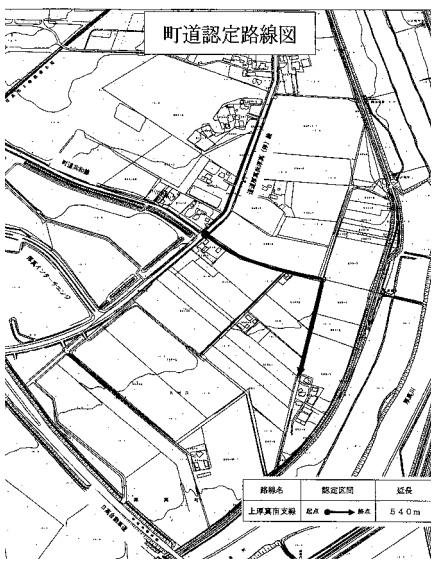
出産一時金の改正

国民健康保険から支給される出産一時金を、39万円から40万4千円に引き上げました。

ただし、町長が特に認める支給額が3万円から1万6千円に減額となつたため、実際の支給額は42万円に変更がありません。

過疎債対象事業にまちなか交流館を追加し、過疎債を活用できるように

※過疎事業対策債(過疎債)とは、過疎の市町村が事業を確保するために活用できる地方債です。過疎債の70%が交付税で国から還元されます。



町道の認定

上厚真318番地の1地先から上厚真30番地1地先までの町道認定を決定しました。

国へ物申す

漁業用燃料油にかかる軽油引取税免税措置の堅持に関する意見書

漁業用燃料油に係る軽油引取税の免税措置を堅持すること。

提出者 木戸嘉則
賛成者 吉岡茂樹、大捕孝吉、下司義之、木本清登
採決 賛成全員
提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、農林水産大臣

厚真川河川改修事業促進に関する意見書

厚真川河川改修事業においては、厚幌ダムまでの未改修区間の早期完成を図ること。

提出者 木戸嘉則
賛成者 吉岡茂樹、大捕孝吉、下司義之、木本清登
採決 賛成全員
提出先 北海道知事

魅力ある地方創生へ向けた施策の推進を求める意見書

1 立法、司法、行政を初め、経済・金融や研究・学術の機関などを全国の地方都市に分散させること。
2 地域活性化施策をワンパッケージで実現するプラットフォームを構築し、地域を支える中小企業など地

場産業に集中投資を行うこと。

3 定住自立圏構想については中心市指定要件を緩和し、地域の使いやすさを重視して事業の再編や予算の拡充を行うこと。

4 大都市圏から全国へ、大都市から地方への人の流れを生み出せるよう、Uターン・Iターンの促進や地域おこし協力隊、新・田舎で働き隊を推進するとともに、都市高齢者の地方への住みかえを容易にする支援措置の拡充等に取り組むこと。

5 地方における企業誘致や起業を促進するために必要な財政上、税制上の措置を講ずること。

提出者 井上次男
賛成者 吉岡茂樹、大捕孝吉、木戸嘉則、木本清登、了安正秋、海沼裕作
採決 全員賛成
提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、地方創生担当大臣

委員会調査の申出

総務文教常任委員会
保育事業、子ども子育て、介護、地方公共交通、行政評価など、9件
産業建設常任委員会
簡易水道、空き家対策、起業化支援など、3件

臨時議会

(町複合型地域福祉活動拠点施設)

まちなか交流館

追加予算を決定

まちなか交流館関連の議案が10月17日に開催された平成26年第4回臨時

議会に提出され、条例案、指定管理者の指定は賛成多数で可決されましたが、

事業費倍増に伴う補正予算については、特別委員

こととなりました。特別委員会の審査結果は11月10日に開催された第5回臨時議会に報告され、賛成全員で可決されました。

は、条例で制定しますが、この施設については、基本的に無料となっています。

第4回臨時議会 10月17日

厚真町複合型地域福祉活動拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定
(主な質疑)

問

公の施設は条例の中に、使用時間、休館日などを定めるべきでは。また、利用料金もこぶしの湯の条例にならって示すべきだと思うが。

町長

公の設置条例は、運用部分について町長の定める規則に委任している例がほとんどであり、規則に委任する前提で提案したが、条例で定めるべきということも真摯に受け止めなければならぬ

と思います。使用料金

問 条例第4条で規定される拠点施設の事業内容のコミュニケーションや交流事業の実施、バス待合室の管理、これらを一括して指定管理者に委託するのか。喫茶厨房なども図面にはあるが、再委託などはしないということか。

副町長

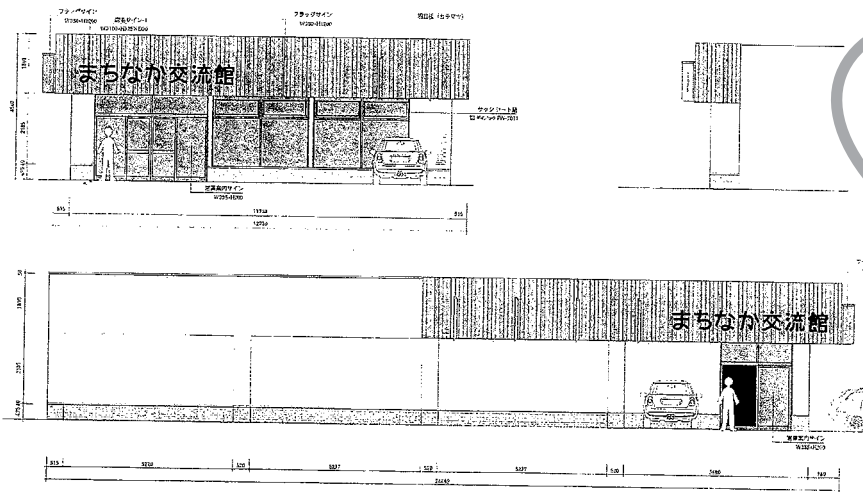
条例第4条に定める事業全てを委託するというところで公募していますが、必要な技術や特殊な技術等を部分的に外部に委託するということをお断りするつもりはありません。

(採決) 賛成8
反対1 三國和江

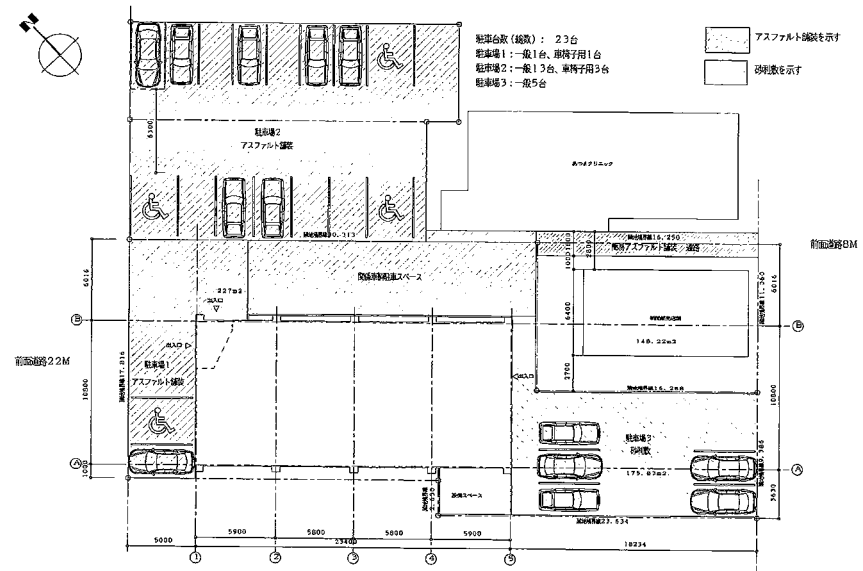
指定管理者の指定 (主な質疑)

問

委託費の中にコミュニケーションカフェの部分が大きく入っているが、指定管理業務において、清掃



平面図 (実施設計後予算) 別図②-1



配置図 (実施設計後予算) 別図②-2

や警備などの委託は考えられるが、主要な部分の委託は本来ないのでは。

副町長 コミュニティカフェの運営を丸投げするというのではなく、ここで製造、調理する飲食物は材料も売り上げも指定管理者の収入、支出となり、委託費は人件費のパート賃金の部分のみです。

(討論)

反対
本本議員 収支予算書が出てきたので、これを見た限り厚真町の身の丈には合わないような納得のいかない不明な点が多々あるので、私はこの案に対して反対します。

(採決)

賛成6
反対3 本本清登・井上次男・三國和江

**厚真町一般会計
補正予算(第4号)**

(主な質疑)

問 車いすの舗装マークの周辺が砂利敷きとなっているが、この部分は舗装できなかったか。

町民福祉課長 駐車場の舗装は、正面玄関から出入りしてもらうので、車いすの方は舗装工事を施工している部分を通して建物の出入りが可能です。砂利敷きの部分は主にスタッフが利用する部分であると考えています。

動議の提出

下司議員

動議を提出します。ただいま議題となつています議案第4号の複合型地域福祉活動拠点施設整備事業については、当初予算が大幅に増えることから慎重審議の必要があります。本件は総務文教委員会が所管ですが、内容が多岐にわたつておりますので、複合型地域福祉活動拠点施設計画調査特別委員会を設置して、これに付託の上、閉会中に継続審査とすることを望みます。提出者下司議員。なお、動議の提出に当たっては賛成議員の最低1名が必要ということ、賛成者として木戸嘉

則議員を報告いたします。

(動議採決)

賛成8
反対1 海沼裕作

(特別委員会の詳細は10から12ページに掲載)

第5回臨時議会

11月10日

特別委員会設置の決定

委員長 下司義之
副委員長 了安正秋
委員 木戸嘉則
委員 木本清登
委員 井上次男
委員 三國和江

平成26年度厚真町一般会計補正予算(第4号)

(厚真町複合型地域福祉活動拠点施設設置計画調査特別委員会報告)

特別委員会の審査結果は、全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

(主な質疑)

今村議員 委員長報告は、無条件可決である。付帯意見のような言い回しだが、なぜ無条件可決としたのか。

下司委員長 委員会での討論は全員賛成であり、討論の内容も付帯意見をとり上げたいという提案がなかったため、全員賛

成、付帯意見なしとなりました。

(委員長報告の採決)

賛成9
反対1 海沼裕作

追加日程第1

決議案第1号の提出

平成26年度厚真町一般会計補正予算(第4号)に対する付帯決

平成26年度厚真町一般会計補正予算(第4号)の執行に当たっては、下記事項について検討の上、予算執行することを求める。

- 1 特別委員会における意見を尊重し、効果的な執行となるよう努められたい。
- 2 公平性、効率性、費用対効果などはもとより、総合的な見地から検討を行い、広く町民にとってより有効な施策となるよう努められたい。

提出者 今村昭一
賛成者 海沼裕作

用対効果などはもとより、総合的な見地から検討を行い、広く町民にとってより有効な施策となるよう努められたい。

(採決)

賛成7
反対3 了安正秋・木戸嘉則・下司義之

第6回臨時議会

11月28日

(主な質疑)

下司議員 先ほどの特別委員会委員長報告では不十分ということか。

今村議員 補正予算の原案可決に異議を持つ者はいないが、特別委員会では出された意見を尊重してもらうには、不十分であり、特別委員会が付帯意見が付けられるべきであったと思います。

(討論)

反対
下司議員 特別委員会の委員長報告で十分意は尽くしていると思うので、反対します。

(討論)

賛成
海沼議員 特別委員会の報告には拘束があります。幅を持つ行政ができるよう、幅を持たせるために

これは必要です。

(主な質疑)

問 通勤手当が15km、25km以上でも支給となると、町外から通うこともできるのでは。定住移住を第一施策とするならば、もっと厳しくても良いのでは。

総務課長 本町の条例は消防組合も準用していません。消防職員は異動を伴うため、最長を穂別―厚真間と想定しています。

(採決)

一般職、特別職、教育長の給与
全員一致で可決
議員期末手当の改正
賛成9 反対1 海沼裕作

人事院勧告による国家公務員の給与改定実施に伴い、本町の一般職の給与に関する条例の一部改正が行われ、通勤手当の金額の改正も行われました。

賛成で認定

平成25年度各会計決算を慎重に審議した結果、付帯意見を付けて認定すべきものと決定しました。

一般会計

収入 66億1693万円
 支出 64億7747万円
 差引 1億3945万円

国民健康保険（特別会計）

収入 6億6785万円
 支出 6億6408万円
 差引 377万円

後期高齢者医療（特別会計）

収入 7585万円
 支出 7284万円
 差引 301万円

介護保険（特別会計）

収入 4億4048万円
 支出 4億3998万円
 差引 50万円

介護保険サービス（特別会計）

収入 2986万円
 支出 2986万円
 差引 0円

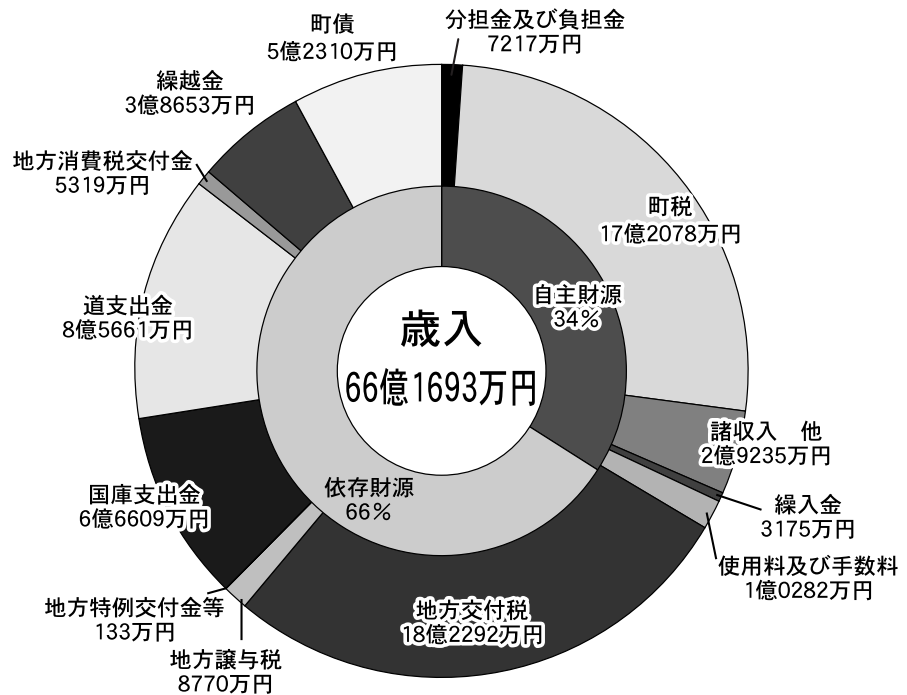
簡易水道（特別会計）

収入 7億8334万円
 支出 7億7074万円
 差引 1260万円

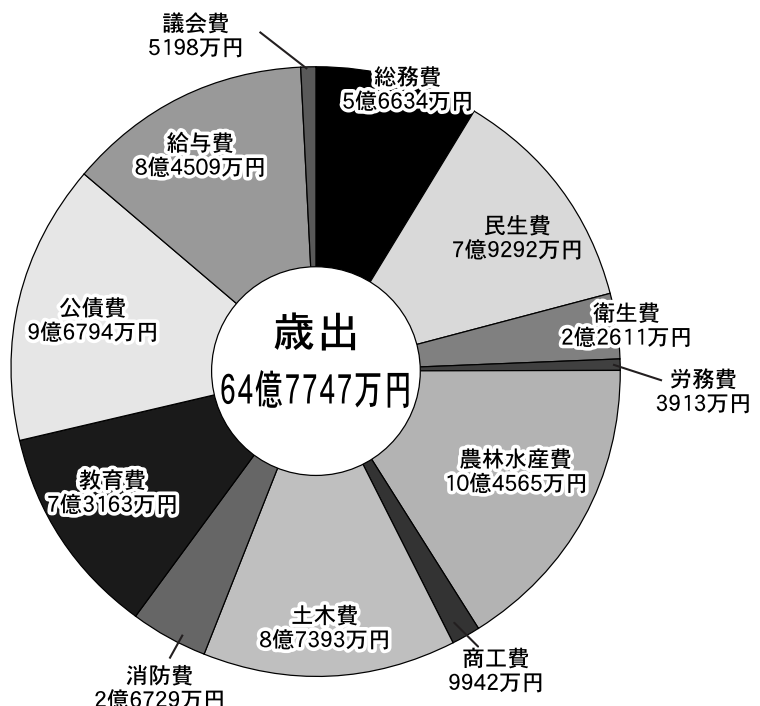
公共下水道（特別会計）

収入 1億8853万円
 支出 1億8091万円
 差引 761万円

歳入（一般会計）



歳出（一般会計）



町の貯金と借金（平成25年度末）

平成26年3月31日の人口 4,712人

貯金の残高（基金等）	金額
貯金の残高（基金等）	43億8476万円
財政調整基金	13億4751万円
減債基金	25億7178万円
その他の特定目的基金	22億3728万円
土地開発基金（貸付金を除く）	5268万円
特別会計の基金	1億5816万円
備荒資金	7822万円
町民一人当たり	93万0551円 (+9万8768円)

借金の残高（地方債）	金額
借金の残高（地方債）	106億0323万円
普通債	52億5165万円
災害復旧債	4555万円
その他の町債	25億8183万円
特別会計の町債	27億2420万円
町民一人当たり	225万5026円 (+10万1559円)

※金額を万単位にしているため誤差があります。

平成25年度一般会計歳出総額64億7747万円

決算委員会

決算は全員

平成26年第3定例会で設置された決算審査特別委員会は11月11日～13日の3日間開催され



問 補助金実績3件の内容と、開業の状況は。
産業経済課参事 内容は、米粉菓子・パンの製造販売、地産地消カフェ、移動販売車を用いたハスカップのPRの3件で、すべて開業しています。



起業化支援事業



移動販売車 (ハスカップカフェ 右)
米粉菓子・パンの製造販売 (稲葉 左上)
地産地消カフェ (momo cafe 左下)



問 厚南地区認定こども園視察研修を行ったようだが、その成果を今後どのように取り入れようか。

厚南地区認定こども園

として

町民福祉課長 上厚真市街地環境整備プロジェクトチームで保育内容や建物構造について4カ所の先進地保育所を視察しました。

視察内容を反映していきたいということで、プロジェクトチームが建物の設計段階から関わっています。保育目標についても、視察内容や近隣の先進的な事例を取り入れて考えたいと思っています。

問 予約者を含め6件の購入者はどのような人か。また、ベッドタウンとしての取り組みは。
まちづくり推進課参事 町内の方で新しく住宅を建てる方が3件、町外の方が移住して、厚真から通勤するという方が3件です。
苦東に立地している企業にパンフレット

上厚真きらりタウン

等を置かせてもらい、PRをしています。



問 子育て支援センター事業のベビーマッサージ指導委託料について、命にかかわるような報道があるが、委託先と内容は。
町民福祉課主査 きちつとした知識を持った苦小牧の業者をお願いしています。今まで何年も実施しているが、危険、だという話はありません。

ベビーマッサージ

こぶしの湯あつま

問 こぶしの湯は町の顔という面もあるので、クレーン等の防止のため、従業員教育や安全教育等を定期的に行うては。

産業経済課参事 昨年度からモニタリング制度のマニュアルを作成し、四半期ごと連絡調整会議を行っています。指定管理者と町でチェックし、苦情等の聞き取りを行い、町から指導する体制となっております。

道営ほ場整備分担金

問 分担金を納めていない者がいるようだが、特別な事情があるのか、最終的に納めないで終わることがないか。

産業経済課参事 納入督促は常に行っていて、事業完了までに徴収できるようにしていきます。

農業後継者育成

問 新規就農者支援事業600万円の内容は。また、どんな見方で農業後継者の規模拡大と判断す



るか。

産業経済課主幹 農業後継者として戻られた経営体への支援で、トラクターやロータリー、コンバイン等の農業用機械の導入です。

規模拡大は、土地利用型から施設栽培など、異なる農業形態を行う場合や、離農者の農地を取得し規模を広げる際の機械の大型化などに対し、支援をしています。面積を基準とはしていません。

エゾシカ対策



問 囲いわた設置の効果は。また、産業経済課主幹 囲いわたは、現在実証実験中です。一斉捕獲は町内の狩猟2団体がそれぞれ実施し、20頭までいっていないが、実績はあります。

軽舞地区親水景観施設造成工事

問 どのような施設を造成したか。河川の景観や



水を親しめるものか。**産業経済課参事** 25年度に国営事業で正楽寺の前に水辺に降りられるような施設を造ってもらいました。今年度はそこ町道の間にある排水を埋めて、芝、ベンチ、一部植栽の工事を行っています。

宅配サービス実証実験

問 宅配サービスと併せて、高齢者の安否確認も行っているが、効果は。

産業経済課参事 昨年6月から3月までの10カ月間実証実験を行い、安否確認では、町民福祉課に連絡し対応した例が1件ありました。



ゴミステーションボックス

問 老朽化が見られる。壊れたから新設してほしいという要望もあるかもしれないが、補修によって経費が少額に済むこともあるので、今後考えていくべきでは。

町民福祉課参事 新設及び修理は、自治会に半額を補助しています。また、従前のものは、大きなふたを上げ下げするのが高齢者の負担となっているので、新設、



修理、改修について自治会から希望を取り半額補助できるよう検討します。

税金滞納

問 滞納が年々増えており、きちんと納めている人が多数であるが、対策を強化すべきでは。

総務課参事 差し押さえや督促差し押さえについて、執行停止処分を行いながら時効が先に迎えたという状況なので、最大限努力はしています。

問 様々な税目を一括にまとめた上で分納することは可能か。また、そういう支払方法は一般家庭に知らせているか。

総務課主幹 滞納額の大きい人は、月1万、2万など誓約を取って、それぞれの税に振り分けるという徴収をしているが、納期に収めていただくのが原則です。

問 税金や使用料の滞納が複数ある場合に、各課で連携して行うことができなにか。

副町長 税の滞納情報その他の課の職員が知ることはないが、徴収は連携して行っている状況です。

問 水道使用料について、何カ月も滞納が続くと、止めるという対応はしているか。

建設課主幹 水は命に関わる部分なので、停止をした事例はありません。
建設課長 徴収の際は、水道を止めるという話もさせてもらっています。

実質収支に関する調査

問 予算全体に関わることで、だが、平成24、25年度と単年度収支ではマイナスではないか。たまたま繰越財源があったからこのような形になっているか。

町長 25年度は24年度の繰越金を使い切って実質赤字であるのは、指摘のとおりです。国の15カ月予算という組み合わせもあり、実質収支としてはマイナスになる場合もあります。基金等を取り崩さないうようにして運営したいと考えています。次世代の負担にならないよう当該年度の収入で行政サービスを行っていく姿勢に変わりはないです。

埋蔵文化財発掘事業



問 旧軽舞小学校を整理事務所として使用しているが、今後の方向性は。

教育長 事業終了後の展開は完全に決まっていない。出土物が相当出ているので、それらの管理も必要となる。事業終了後に考えたい。

職員研修

問 研修委託料の概要は。

総務課主査 役場内で行う研修で25年度は主任・主査職を対象に政策を立案する研修を実施しました。

副町長 研修で立案した政策を基に事業化されたものは、上厚真の市街地整備などがあります。

水基金

問 水基金の残高が約11億7500万円あるが、勇払東部地区のかんがい排水事業の変更有り、今後さらに12億8000万円が必要だというが、その方向性は。

副町長 現在の積立額は当初予定されていた分であるので、変更後の増加分12億8000万円は、今後基金を積み増していかなければなりません。

学校教育

問 特別支援教育支援員の配置の仕組みは。

生涯学習課主幹 普通学級に、学習の手助けが必要な児童生徒がいる場合、学校から要請があります。教育長から就学指導委員会へ諮り、その答申を受けて教育委員会で支援員を配置するか決定します。

【討論】

意見 木本清登

賛成討論というよりも私の意見として一言付け加えるが、今回の決算審査に当たり個人的な感想としては、おおた適正に事業の執行が行われていると思われる。しかし、今後の課題としては、歳入の滞納、また指定管理者の運営等に関してももう少し厳しい監視努力体制が必要ではないかと思われる。

【付帯意見】

(1) 各会計における収入未済額については、公平な負担と財源確保の観点

から、収納率の向上と新たな収入未済額の発生防止に向けた一層の取り組みの強化に努められたい。特に滞納処理については、各課の連携を図るなど、徴収体制を強化し、安易に時効を成立させ、不納欠損処理をすることのないよう、適正に取り扱われたい。

(2) 予算執行時に目間及び節間流用等が各会計において多数見受けられる。多額に及ぶ流用は、執行目的の変更も考えられることから、補正予算として扱われたい。

(3) 指定管理者に対する運営等に関しての監視等、町の積極的関与により、利用者サービスの向上に努められたい。

(4) その他審査中の指摘事項については、十分検討の上、新年度予算に反映させるなど最大の行政効果が発揮されるよう努められたい。

【採決】

全員賛成で認定すべきものと決定。

特別委員会 まちなか交流館の 補正(追加)予算の必要性を審査



平成26年第4回臨時会で、町議会内に町複合型地域福祉活動拠点施設設置計画調査特別委員会が設置され、「議案第4号平成26年度厚真町一般会計補正予算(第4号)」が付託されました。

委員には、了安正秋、木戸嘉則、下司義之、木本清登、井上次男、三國和江の5人が選任され、委員外議員を招致しての委員会を含め、計4回の委員会が開催され、補正追加予算について慎重に審議しました。

委員長を決定

第1回委員会は10月17日に開催され、委員長、副委員長の互選を行い、委員長に、下司義之、副委員長に了安正秋を選任しました。

委員会の進め方を決定

第2回委員会は10月23日に開催され、今後の委員会の進め方を協議しました。

基本方針として、本事業は平成26年度当初予算で可決されている事業であるため、補正予算の可否に係らず年度内に事業が終了できるように議会の責任で結論を早急に出すということと合意し、多くの意見を聞いた方が良く、このことから委員外議員を招致した委員会を開催することも決定しました。

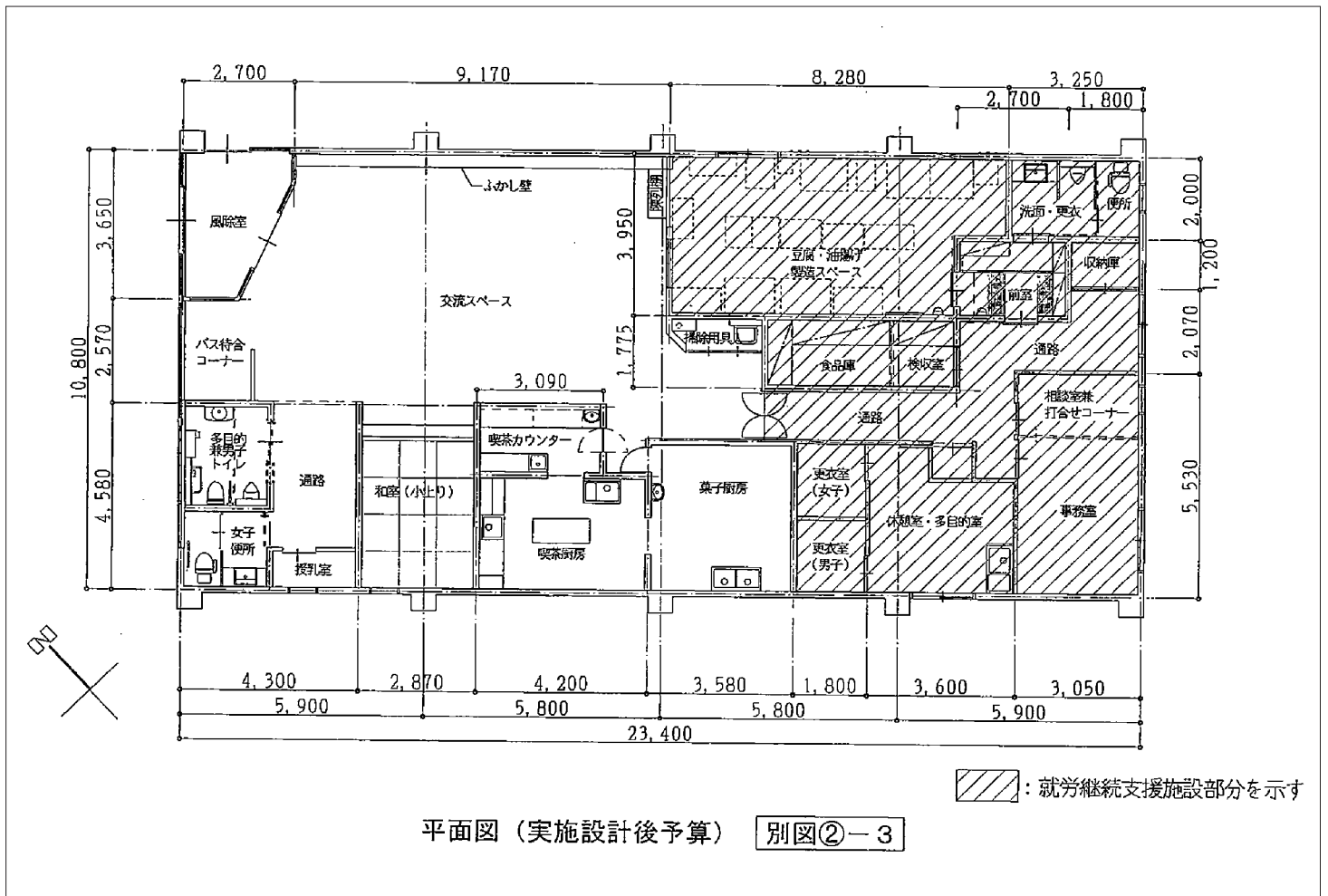


委員外議員も招致 議員全員で調査

第3回委員会は10月29日に開催され、現地調査、事務調査を行いました。

事務調査には参考人として指定管理者であるN

PO法人ゆうあいネットあつま清水理事長と阿部副理事長に出席していただき、本事業で計画されている就労継続支援B型とまちなか交流館の運営方針について、3時間に及ぶ質疑が行われました。



(主な質疑)

問 町内で就労支援B型に該当すると思われる対象者の状況は。

町民福祉課長 町で身体障がい者手帳の交付を受けている方は、328人。精神保健福祉手帳の交付を受けているのが16人、療育手帳の交付を受けている方が児童で14人、成人で6人である。

その他養護学校に入学中の方が中等部で1人、高等部で2人。町内の特別支援学級の在籍児童生徒が14人である。療育事業として実施している、たけのこ教室の利用者が3歳から6歳までで10人である。

問 まちなか交流館と就労継続支援B型事業所を合わせるメリット、デメリットは。

町民福祉課長 メリットはより多くの多世代間交流を図れることで、デメリットは特にない。

問 なぜ豆腐と油揚げの

製造にこだわるのか。
町民福祉課長 町としては、安定して運営できるものであれば、製造する物に決まりはない。

指定管理者を公募し、事業提案を受けて決定した。パンという意見もあったが、近隣と競合するという懸念もあり、豆腐に着目されたようだ。おからを出さずに作れるなど、健康食品としてのアピール度も強く、販路拡大が見込めるということである。

問 平面図では、通りに面するガラス張りの部分にトイレを設置するようだが、内側からも外側からも空間が狭く感じるのでは、設計変更できないか。
建設課参事 窓の部分は外から見ても、おかしくないように施工する。水回り等の位置関係を考慮し、全体設計の中で決めているので、この形で進めて行きたい。

問 コミュニティカフェの委託費の内容が変更になったようだ。
町民福祉課長 10月17日の臨時議会後に指定管理者からコミュニティカフェの業務変更願があり、承諾している。事業費の変更分は、今後基本協定年度協定を結ぶ際に十分協議する。

問 交流スペースは一般の人が無料で使用できると思うが、そのPR方法は。
副町長 正式な協定を結んだ後には、指定管理者がPRをしていく。それまでの準備期間については、町でしっかりとPRをしていく。

問 開館時間は、午前10時から午後7時までと説明があったが、隣の医療機関では朝早くから開院を待っている人がいるので、その人たちも利用できると思うが。
NPO法人ゆうあいネットあつま理事長 説明

が洩れたが、B型事業所の職員は、8時30分に出勤する予定なので、バス待合所や交流スペースで休んでもらうことは可能である。

問 B型事業所の職員は、当初から常勤3名が必要か。
町民福祉課長 職員配置基準では3名必要である。

NPO法人ゆうあいネットあつま理事長 職員はサービスマン責任者、職業指導員などいろんな役割があるが、B型の場合はその人たちが中心になって仕事をやるので、最低3人いないと仕事が進まない。

討論・採決

問 開館時間は、午前10時から午後7時までと説明があったが、隣の医療機関では朝早くから開院を待っている人がいるので、その人たちも利用できると思うが。
NPO法人ゆうあいネットあつま理事長 説明

(討論)

賛成

了安委員 豆腐製造販売についても町内施設への

提供を図っていくということであり、納得のいく事業であると思う。工事費内訳についても納得いくところである。よって、今回の補正予算については、建設事業の設計、変更等によるやむを得ないものと判断する。

賛成

木本委員 今回当初予算の倍を上回る補正予算の議案を提出された件に際し、町民の付託を受けている当議会が真摯に受け止め、不信感を払しょくをするべき調査・研究の場を設けるため、特別調査委員会を設置したことは非常に賢明な対応策と思われる。

特異な議案提出であったが、対象町民の声、また場所的要件など多用途にわたり調査・研究、協議・検討を重ねた。結果、一部平面プランの不備、食品製造販売の難しさなど多少の不安的要素はある。しかし、今後指定管理

料に依存しない運営等、多様な課題が改善、努力されることを期待して、まちなかで医療機関にも隣接した立地であることを考慮すると、厚真町の将来展望には必要な事業と判断するとともに、今後関係利用者の要望を補填整備されることを条件として、私はこの補正予算提出には賛成する。

賛成

井上委員 私も賛成討論であるが、まず、前議会(第4回臨時会)の中で私は反対したが、多数決の理論でこの指定管理者も含めて決まった。同時に、補正予算も指定管理者も決まったという前提のもとに今これが進んでいるところであり、これを覆す何者でもないのかなど。それをもって、議論の中でいろいろされたが、図面とか位置とかいろいろ真摯に受け止めてもらい、賛成という方向で迅速に進んでいただきたいと思ひ、賛成する。

賛成

木戸委員 私はこういう施設が何かなということをやずっと思っていて、やはりこれからの障がい者の方が厚真町の中に今後かなりの人数が出てくるということをや昨日伺った。よって、だからいかに今後の障がい者の方のためにも一刻も早くそういう施設を造って、今後のそういう人たちのためにも道筋を付けて、家族の人たちが安心して働けるという場所を提供していく、施設だと思ひ。

また、高齢者等でも、街の中で病院や買い物で時間帯を待てるバス待合所というものも、一応それに付けてもらい、全部で福祉サービス、生活面において、かなりのウェイトの持てる良い施設ではないかと思うので、賛成とする。

(採決)

全員賛成で原案の通り可決すべきものと決定。

研修報告

北海道新幹線を勉強してきました

胆振管内町議会議員研修会報告

三國和江

新幹線とは、全国新幹線鉄道整備法に基づき、時速200km以上の高速で走行できる幹線鉄道です。新幹線鉄道の特徴は、カーブが緩やかで、線路の間隔が広く、主に踏切のないトンネルや高架橋を走行します。なお、新函館北斗駅から札幌駅ま

での211kmの区間は約76%がトンネルです。また、鉄道と航空のシェアは乗車時間4時間が分岐点となるそうです。

北海道新幹線は、新青森駅から札幌駅間の延長距離360kmです。これまでの北海道新幹線の経緯は、昭和48年に青森市

から札幌市までの北海道新幹線整備計画が決定し、その後、平成17年に新青森から新函館北斗間の工事実施計画が認可されました。さらに、平成24年には、新函館北斗から札幌間の工事実施計画が認可となりました。

平成26年7月、与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームは「整備新幹線の取り扱いについて」の申し入れを行い、北海道新幹線（新函館〜札幌間）の開業時期を平成47年度から5年前倒し、平成42年度の開業を目指しているところとす。平成26年8月の政府、与党申し合わせでは、平成27年度予算編成過程で適切な結論を得るべく必要な検討を行っていくということです。

平成26年11月1日、渡島管内木古内町駅構内で、



研修報告

壮警町商工会が行っている活性化事業を研修しました

胆振管内町議会議員研修会報告

了安正秋

北海道新幹線の新青森から新函館北斗間のレール締結式が行われ、同区間14.9km、9路線が全て繋がりました。2016年3月開業に向けた準備はいよいよ佳境を迎えます。

10月24日に壮警町商工会 松原宣彦さんから奥洞爺事業概要の説明を受けました。

事業方針は、奥洞爺温泉郷（壮警温泉・蟠溪温泉・北湯沢温泉）という統一ブランドの確立、天然温泉資源の活用、地域の農畜産品による誘客であります。

温泉郷の小さな宿9軒に宿泊し無料でお湯めぐり出来るプラン、奥洞爺牛肉まつりの開催、ダークホースかぼちゃを活用してのスイーツ、奥洞爺牛を使ったメニューなど地域農産品を活用した活性化事業の展開を研修しました。

町内人口、観光客数及び事業所の売上減少解消のため「何かやらねば」という想いで、補助金を活用しての事業を検討したそうです。

町においても同じような事業を実施していますが、もう一歩進んだPRが必要ではないかと感じております。

その他、官民協働による賃貸住宅整備手法として賃貸住宅整備事業を研修しました。



総務文教常任委員会は、10月20日に、厚南地区認定こども園建設予定地の現地調査、厚南地区認定こども園、厚南地区児童会館、住民健診保健事業、防災対策、交通体制の整備の事務調査を行いました。

委員長 今村昭一 副委員長 了安正秋 委員 井上次男、三國和江、海沼裕作

厚南地区認定こども園・

厚南地区児童会館事業計画を調査



(主な質疑)

問 こども園への移行にあたり、保護者は保育料が上がるかと心配している。宮の森保育園はへき地保育所なので、京町保育園から、認定こども園つきへの移行と状況が異なる。その辺りの配慮は。

町民福祉課長 保育料は、所得税に応じた負担割合となるので、今より高くなる人も安くなる人も出る。認定こども園つみきの平均保育料は、1万5000円位なので、へきち保育園の保育料1万1000円に給食費を足すと考えると、現状並みに推移していく。

問 説明会で保護者から出た意見で遊び場を、こども園と児童会館で分けてほしいという意見がある。

ったようだが、指導員が安全管理をしながら一緒に遊べるスペースを作っては。

副町長 学童と保育園の遊び場が一緒が良いかどうかは、専門家でも様々な意見がある。体力差があるので危険だという方もいるし、一緒に遊ばせたいという願いもある。色々な意見を聞いて検討したい。

問 環境保育とはどういう意味か。

町民福祉課主幹 通常の一斉保育と異なり、保育の時間に子どもたちに主体性を持たせて、いくつかの遊びから自分たちで選択して活動できる環境を提供するということが、現在考えている環境保育の内容である。

厚真町保育料徴収基準額表

各月初日の入園児童の属する世帯の階層区分		保育料徴収基準額 (月額)			
		長時間保育		短時間保育	
階層区分	定 義	3歳未満の児童	3歳以上の児童	3歳以上の児童	
第1	生活保護法(昭和25年法律第144号)による被保護世帯(単給世帯を含む。)及び中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律(平成6年法律第30号)による支援給付受給世帯	0円	0円	0円	
第2	第1階層及び第4から第8階層までを除き、前年度分の市町村民税の額の区分が次の区分に該当する世帯	市町村民税非課税世帯	6,000円	5,000円	16,000円
第3		市町村民税課税世帯	14,600円	12,300円	
第4		40,000円未満	20,000円	18,000円	
第5		40,000円以上 103,000円未満	29,600円	25,600円	
第6		第1階層を除き、前年分の所得税課税世帯であって、その所得税の額の区分が次の区分に該当する世帯	103,000円以上 413,000円未満	40,600円	
第7			413,000円以上 734,000円未満		
第8			734,000円以上		

上記保育料を基準に以下のような減額措置を講じています。

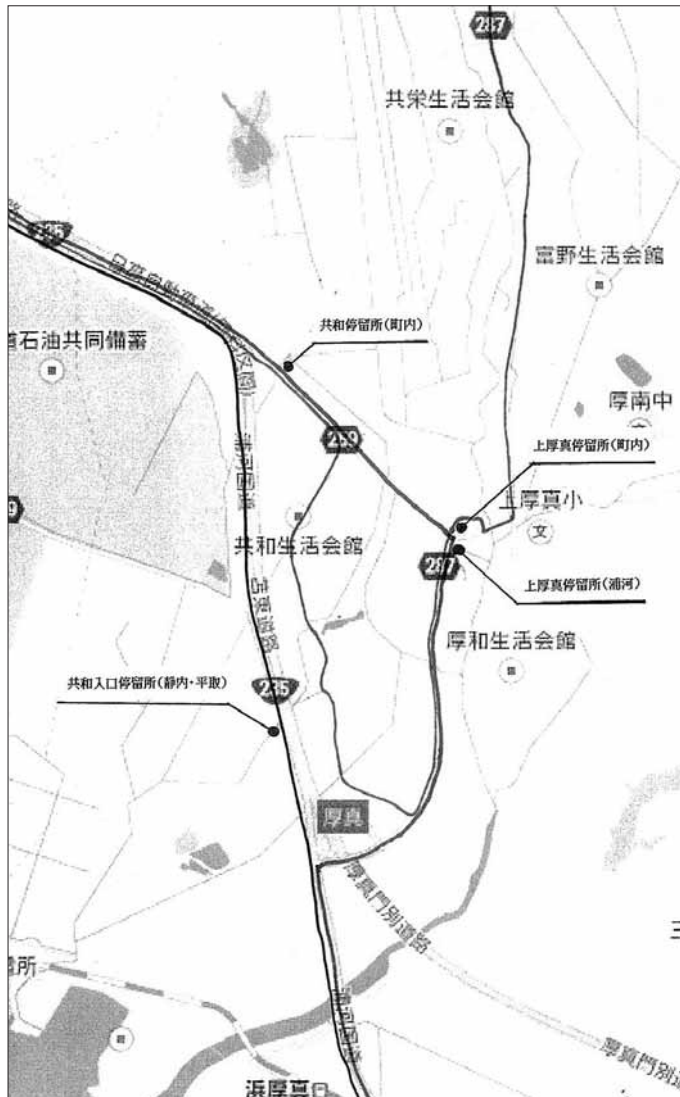
- ①ひとり親世帯等で児童を扶養しているものの世帯
階層区分が第2の場合 3歳未満、3歳以上ともに0円
- 階層区分が第3の場合 3歳未満 13,600円、3歳以上 11,300円
- ②2名入所の場合 2子目の保育料1/3 ③3名入所の場合 3子目0円
- ④義務教育終了前の児童が3名以上いる場合 入所児童保育料2/3
- ⑤その他規則に則した減免措置

委員会レポート

総務文教常任委員会

厚南地区公共交通の充実

交通体制の整備を調査



上厚真付近運行路線図（その1）

（主な質疑）
 問 道南バスの上厚真の乗り入れ実施の見通しはあるか。
 まちづくり推進課長 まだ何ともいえない状況である。あつまバスの営業エリアなので、道南バスはその部分を心配してい

る。道南バスのシミュレーション結果を踏まえて、あつまバスとの調整が始まる。いずれにしても路線変更なので、ダイヤ改正に合せた時期となり、順調にいつても1年くらいはかかると思う。

（主な質疑）
 問 がん検診受診率について、肺がん以外は受診率がだんだん下がっているが、考えられる原因は、町民福祉課参事 年度によつてばらつきがあるが、

住民健診の受診率を調査

最近では低下傾向にある。近隣町と比較すると厚真町だけが特に低いということではないが、未受診者の対策に特に力を入れる必要があると認識している。

町災害対策本部の対応

防災対策を調査

（主な質疑）

問 地区連絡係などが地域の防災係に入ったり、会議に参加するなどの体制を取れるようにしては、総務課長 地域の会議等に地区連絡員が参加することは確かに大切なことであると思う。

問 日中に災害が発生したときの学校や保育園の子どもたちの対応について連絡体制は、総務課長 登校が終わった段階では、危険が去るまで学校にいてもいい、登校前であれば自宅にいてもいいということ、

学校、教育委員会、災害対策本部で話をつけており、防災無線で連絡をしている。

問 9月の大雨の際、避難勧告に従ったのは10数人であり、避難勧告が無視されるような状態になっているのでは。

副町長 あの時（9月11日）は、大雨特別警報という本町で初めての状態が起き、Jアラートの緊急放送が先に流れたこともあり、自動的に避難勧告という話になったが、今後は、避難勧告の出し方あるいは避難準備情報の出し方を検討していきたい。



産業建設常任委員会は、平成26年10月21日に元気な農家チャレンジ支援事業、道の駅検討委員会の検討結果報告、地域活性化推進事業の事務調査を行いました。

委員長 木戸嘉則 副委員長 吉岡茂樹 委員 大捕孝吉 下司義之 木本清登

婚活で町を活性化

あつま新鮮組地域活性化推進事業を調査

プライバシー保護のため写真はぼかしてあります。



(主な質疑)
問 男性参加者に苦小牧市の方がいるが、町の活性化という事業取り組みであれば良いが、町の婚活事業としてはどうか。
産業経済課主幹 婚活により町内への移住定住を

促進する目的もあるが、地域商業の活性化という目的もあるので、町内事業所に従事している方であれば、町外の方でも良しとしている。

問 今回は、新鮮組主催だが、毎年農業委員会で行っている農業後継者対策事業との関係は。

副町長 農業委員会の婚活事業は農業青年に限られてしまうが、広く若い人に町に入ってきてほしいということもあり新鮮組に活躍してもらい実施した。農業委員会の関係者等も新鮮組の婚活に参加し、事業の参考にした。PR等も行っており、お互いに連携している。

問 町内の女性参加者が一人もいなかったが、そ



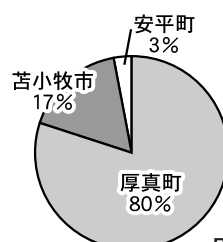
のことについて検証は。
産業経済課主幹 当初町内の女性1人の申込みがあつたが、仕事の都合で欠席であつた。町内の女性にも声掛けはしたようだが、参加者がいなかった。

問 事業参加者名簿には載っていないが、スタッフとして事業に参加した町内の方は多いと思う。そういう意味では、事業効果はあつたと思うがいかがか。

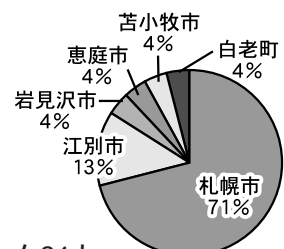
副町長 新鮮組の担当者も含めて相当数の手伝いの方がいたという点では大きな効果があつたと思う。今後は、この事業のフォローアップをどのようにしていくかということが大事であり、発展的に町のPRや活性化、それぞれの産業の後継者対策にもつながっていくれば良いと思う。



男性参加者の住所別内訳



女性参加者の住所別内訳



男30人 女24人

委員会レポート

産業建設常任委員会

元気な農家チャレンジレンジ支援事業

(主な質疑)

問 補助内容に新作型導入とあるが、どういうものか。

産業経済課主幹 新規振興作物ということで、現在町では主になっていないものを新たに取り入れることである。

問 今年度の新技術導入事業の、水稲直播試験事



落花生



エシャロット

業と、馬鈴薯におけるカルシウム施用による品質向上試験について説明を。

産業経済課主幹 水稲直播は、育苗ハウスで育った苗を水田に植えるのではなく、水田にそのまま種をまくやり方である。馬鈴薯におけるカルシウム施用は、カルシウムを含んだ肥料を使用することで、肌ずれがなく選別等の時に皮がむけないという効果がある。

問 新規振興作物導入試験事業のこれまでの作物と、その中で見通しの明るいものは。

産業経済課主幹 町内でこれまで作られていない作物を各農家にお願しい、ハウスに植え付けしてもらっている。空芯菜(くうしんさい)、オクラ、カラシナ、長茄子、ミニキヤベツ、モロヘイヤ等全部で13品目である。もぎたて市等で大変好評を得ているようである。

業と、馬鈴薯におけるカルシウム施用による品質向上試験について説明を。

道の駅検討委員会の

検討結果報告を調査

(主な質疑)

問 検討結果を受け、今後町の方向性は。

副町長 早急に道の駅の

登録作業に入る状況には

ないが、こぶしの湯周辺の開発、整備は検討を継続していく。厚真町の売

りを明確にしながら施設整備も考えたい。除雪センターの移設も様々な課題があり、早急に着手できる状況にはない。

問 検討委員会の報告では休憩の機能の重要性を

言っている。今後まちなか交流館や古民家においても休憩という部分を重要視しては。

副町長 検討委員会の調査結果等も活用しながら、

どういものが良いか、新しい検討組織の中で考えていかなければならないと思っている。検討組織については、プロジェクトチームなど町民や専門家を交えた新しい組織を今年や来年から作るという段階まで至っていない。



一般質問

ここが聞きたい

財政

新電力の導入を検討してみては

答 節減効果可能性のあるものは検討する

問 北電が昨年11月1日から実施した電気料金の再値上げで、町はどれ位の負担増となるか。また、経費削減策は。

ど、新電力の導入について検討してみても、校の3施設に限定され、年間20万円程度の節減効果が見込める。可能性、あるいは効果のあるものについては検討する。

一般的に新電力の導入による削減効果は、日中だけ電気を使う施設で大きく、昼夜問わず使用し続ける施設で小さいとされている。このため、小

中学校、青少年センター、スポーツセンターなど、実際に節減の可能性があるのは、スポーツセンター、野球場、中央小学

は、年間約1240万円程度と試算している。引き続き節電目標を設定し経費節減を図っていく。

町長 値上げによる負担増は、本年度、約100万円となる。27年度以降は、年間約1240万円程度と試算している。引き続き節電目標を設定し経費節減を図っていく。



了安正秋 議員

町のPR

町の知名度を上げるPR及び戦略は

答 戦略協議会をつくっていききたい



問 ハスカップについては、苗木購入支援、ハスカップフェアの開催、多様な関係者が連携してハスカップを活かした地域ブランド化などに取り組んでいるが、「ハスカップのまち厚真町」と言われるよう、知名度を上げるためのPRが必要だと思われるが、これからの具体的対策、及び、本町のイメージ戦略は。

開きがあることが現状の課題である。町のPRのために、具体的対策及びイメージ戦略を積極的に取り進めていかなければならない。また、本町の様々な手段を使って、ハスカップそのものと町を結びつけていく工夫をすべきと考えている。

町長 特産品ブランド化に向けた方向性と、市場に対する供給力に大きな

商工、JA、行政機関による戦略協議会をつくっていききたい。

(取り止めた質問)

問 冬の生活支援金の増額について理由 本定例会に予算化されていた

一般質問

ここが聞きたい

まちづくり

厚真創生の展望は

答 町総合計画と軸をーに

問 国会で地方創生関連2法案が成立した。これは日本の人口の現状と将来の姿を踏まえ、人口減少を克服し活力ある社会を実現するため5か年計画を提示し、定期的に見直しながら推進する内容である。

本町でも一次産業を原点到、豊かな資源を活用した中で、町民が心豊かな生活を送ることを厚幌ダム完成後にも託すため、

厚真創生の展望を示すべきでは。

町長 本町としては、平成27年度中にこの法案に基づき総合戦略を定めたいと考えている。くしくも、28年度以降の町総合計画を策定する準備作業に入っていたので、まさにこの地方創生のための総合戦略と軸をーにするという状況である。



井上次男 議員



福祉避難場所として指定されている中央小学校

防災対策

「福祉避難場所」の指定は

答 厚真中央小学校を指定している

問 地震などの災害時に高齢者や障がい者等を支援する必要となる人が自宅などから避難する福祉避難所は、地域によって各世帯と避難所までの距離が遠く、移動手段の確保に苦慮されることになる。

厚真町においても災害時には高齢者や障がい者等の各施設との連携、協力が必要であるが、施設等と協定を交わしているのか、また、町の福祉避難所は。

町長 福祉避難場所としては、厚真中央小学校を指定している。また、避難行動要支援者としては全町で161人の方が登録されており、大規模災害時には高齢者、障がい者など支援の必要な方を十分収容できると考えております。

小規模、地域限定の災害時に避難できる場所として北海道厚真福祉会に一時的に収容していただけないか、協議を今はじめている。

一般質問

ここが聞きたい

まちづくり

将来の町の基本となる人口問題は

答 ベッドタウンに挑戦、1次産業振興が最重要

問 平成18年に策定した第3次総合計画があと1年で終了するが、その進捗状況と検証について。

本町の将来人口推計については日本創生会議が発表した農村地帯ほど減少率が高く我が町も消滅可能性が大である。

移住定住の推進、子育て支援、教育環境充実、産業・経済基盤の充実など、最重点課題と捉えて

いるが。ポスト総合計画をどの様に描くのか。

町長 総合計画については、政策ごとの課題、問題点、進捗状況を現在検証作業中であり、将来の人口問題については、苦小牧経済圏のベッドタウンとしての挑戦、暮らしを続けられる環境整備、

幼児・学童など子育て環境の充実をポスト次世代

育成計画に体制整備も含め充分検討する。

ベースとなる1次産業については、所得を上げるために関係機関と協力して取り組む。



吉岡茂樹 議員



農業振興

基幹産業の後継者育成・研修の基本は

答 効果的な研修の場、支援策を検討する

問 今後、基幹産業の農業は、担い手の育成、確保が一番の重点課題である。

一口に農業経営と言っても後継者として身につける項目は多岐に渡るもので、1年から2年を目途とした研修農場での実習、フロンティア塾の充実など、光明が見えてくるよう、Uターン、Iターン就農者、後継者に対する指導、支援の在り方を掘り下げて検討しては。

町長 現在、生産基盤を整えて、農地の集約化を進め、高品質で安定的に農畜産物を生産、消費地の期待に応え、所得を確保する流れに変わりはない。

本町では土地利用型、施設園芸型などの取り組みがあり、生産基盤が整い農地の集積を進めながら、最終的には後継者の効率的人材育成、後継者不足をどう解決していくか、関係機関の協力のもとで重点的に取り組む。

一般質問

ここが聞きたい

防災対策

緊急時の保護者への連絡は十分か

答 細かな情報伝達がされなかった

問 9月11日の悪天候による警報が出た時に、保育園児、小・中学生の保護者の中で、子ども安否について不安に思った保護者がいた。

情報伝達については、保育園、学校の対応が決まってからではなく、初期段階で何らかの手を打てないか。

情報伝達に、町のホームページ、フェイスブック

ク等を活用できないか。

町長 9月11日は、小・中学校に関して12時20分に防災無線で下校について放送した。

保育園は対応については保護者向けの情報を出していない。

本部体制、情報の収集については的だったと思うが、子ども達を安全に保護するために、保護

者向けの細かな情報伝達がなされなかった、というのを改めて反省している。改めてマニュアルを作成し訓練する。



下司義之 議員



厚真川沿いにある認定こども園・つみきは安全か

防災対策

緊急な断水に対する広報、装備は十分か

答 改善、検討する

問 災害時にはライフラインの確保が重要である。その中で、水道は町が直

接関与しなければならぬ。断水は、その原因が何であれ、戸々にとつては被災と同じ状態である。次の点を問う。

対応する職員の人数は十分か。

被災者への情報伝達が遅いと思うが、広報車、自治会防災無線を活用して早く情報伝達をできないか。

災害対応のため町にも専用車両を配備できないか。

副町長 事故あるいは災害が起きた時に、速やかに復旧させることを、もちろん第一に考えたいと思っている。

対応する職員の人数については、必要に応じて増員して対応するようになっていく。

初期における放送に関しては、予測の放送も含めて細かく放送する対応を今後取り入れたい。

防災、災害復旧専用車両については、今後検討したいと思う。



厚真町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の制定

11月28日全員協議会が開催され、厚真町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の制定、財政計画、平成25年度決算に係る財務書類について協議されました。

厚真町地域優良賃貸住宅とは、現在上厚真地区に建設中の子育て支援住宅のことであり、その設置や管理に関する条例について協議が行われました。

また、世帯の子ども等の数等に応じた家賃の減額制度や、一番年齢の低いお子さんが18歳になる年度までという入居制限が設定されます。

(主な質疑)

所得では意味が異なるので整理するべきでは。まちづくり推進課参事 上位法があり、そこで所得という形で明記されているので、所得となっていますが、実際に条例提

案する際には、町営住宅等の条例と内容を精査し、整理させていただきたい。 問 入居者決定の際のポイント表であるが、町内分譲地の購入者には、5

点、10点など思い切った点数を付けても良いのでは。 まちづくり推進課参事 ポイント数は再度考慮させていただきます。 います。

【子育て支援住宅】

特定優良賃貸住宅の供給に関する法律及び地域優良賃貸住宅制度要綱の規定に基づき、子育て世帯の居住に供する優良な賃貸住宅の供給拡大を図り、移住の促進と定住人口の増加を図るため設置します。

問 町の公営住宅も含めて敷金3カ月となっている。民間の住宅は敷金ゼロというところがほとんどだが、近隣町の状況はまちづくり推進課参事 かわ町の子育て支援住宅は敷金2カ月です。町の公営住宅の敷金が3カ月なので、同様に設定しています。今後の検討課題とします。

入居資格は、同居者に小学校終了前の扶養親族が1人以上いて、町内に移住をしようとする世帯で、応募多数の場合は、世帯の状況によるポイント制で入居者を決定しま

問 町営住宅の条例との用語の整合性は。町営住宅では収入と表記があり、子育て支援住宅は所得と表記されている。収入と

入居者選考点数表(案)

項目	点数
1 世帯主若しくは同居しようとする家族が、厚真町内で就業若しくは就農しているとき	3点
2 小学生以下の児童・幼児1名に付き	3点
3 中学生1名に付き	2点
4 高校生1名に付き	1点
5 同居しようとする配偶者(婚姻の届出をしないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者その他婚姻の予定者を含む)が妊娠中の時	1点
6 世帯主の年齢が35歳未満	3点
7 世帯主の年齢が35歳以上40歳未満	2点
8 世帯主の年齢が40歳以上45歳未満	1点
9 町内分譲地の購入者	2点

財政計画について協議

財政計画は、平成18年度から平成27年度まで、町の総合計画と同期間で計画されていますが、その後の推移と特殊要因を

問 ポイントについて、配偶者が妊娠中の時が1点であるが、もっと点数を上げて良いのでは。 まちづくり推進課参事 確かに妊娠中というのは、1カ月や2カ月後に小学生以下の子どもとなる可能性が高いので、点数についても整理させていただきます。 いただきます。

平成25年度の財務書類

平成25年度決算について、バランスシート等を用いて、町の財政状況について協議しました。

見込んだ平成30年度までの推計をもとに協議されました。(主な質疑) 問 行政コストという話があり、職員数をどんどん減らしている状況である。人件費を圧縮できるかも知れないが、業務が多忙を極める中、効率的な業務が確保できるのか。 副町長 ここ数年職員数を減らしているが、町独自の問題として、厚幌ダムやかんがい排水など大規模事業が多く、行政サービス自体の量が減っていないということがある。超過勤務の増加や体調を崩す職員も出てきており、外部コンサルの活用が職員数を増やすべきか、何らかの対策を取って新年度に提案していきたいと思えます。

議会及び議員の活動報告

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日	
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	曜	
	調査特別委員会	厚真町複合型地域福祉活動拠点施設設置計画調査特別委員会	厚真町複合型地域福祉活動拠点施設設置計画	町現金出納例月検査		厚真中央小学校学習発表会	胆振管内町議会議員研修会（～24日）	厚真町複合型地域福祉活動拠点施設設置計画調査特別委員会	産業建設常任委員会	総務文教常任委員会				第4回臨時議会 全員協議会	議会広報特別委員会	安平・厚真行政事務組合監査	厚真ダム落水感謝祭						議会広報特別委員会		議会広報特別委員会						議会広報特別委員会	平成26年10月の議会の動き

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日	
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	曜	
		政務事務組合議会臨時会	第6回臨時議会 全員協議会・議員協議会 胆振東部消防組合議会臨時会 安平・厚真行政事務組合議会臨時会				新嘗祭 天皇・皇后両陛下御結婚五十五周年 皇后陛下傘寿の御祝い	町現金出納例月検査					安平・厚真行政事務組合監査		室蘭厚真会総会・懇親会		平成25年度決算審査特別委員会	平成25年度決算審査特別委員会	第58回町議会議長全国大会	第5回臨時議会				監査委員研修	監査委員ゼミナール		平成26年度厚真町文化祭開催式	平成26年度厚真町表彰式			平成26年11月の議会の動き

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日	
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	曜	
				自警団歳末警戒激励訪問	議会広報特別委員会 町並びに議会、社協役員による福祉推進懇談会	勇払東部中央要望（～26日）	町現金出納例月検査 胆振東部消防組合議会定例会		胆振東部日高西部衛生組合議会定例会				交通安全・防犯町民集会		議会広報特別委員会	安平・厚真行政事務組合監査				第4回定例会 議員協議会					厚幌ダム安全祈願祭 議会広報特別委員会	議会運営委員会 議会広報特別委員会	とまごまい広域農協厚真支所農業振興懇談会 胆振管内町議会議長会第2回定期大会	美深町議会広報特別委員会視察来町			第38回歳末助け合いチャリティー演芸大会	平成26年12月の議会の動き

元気なあつまの子

華道同好会

指導者

上田 敦子さん



華道同好会は、昭和53年（1978年）に発足した生け花を楽しむ会で、今年37年目を迎えます。毎年、町の文化祭で行っている、生け花の展示アレンジメントフラワー製作は、来場者が気軽に体験できることで大変人気です。

会員は、生け花の流派である「小原流」の苦小牧支部にも加盟していて、支部主催の生け花展や講習会、3月から11月まで月1回開催される研究会に参加して高い技術を習得しています。

現在会員は、小学生から大人までの11人。

お稽古は、毎月第2、4木曜日、午後6時から8時まで、総合福祉センターで行っています。興味のある方はいつでも見学に来て下さい。

地域の話題⑮

モモカフェ momo cafe



厚真市街から道道千歳

鶴川線を鶴川へ向かって車で3分ほど走ると、左側に町の分譲地フーラムビレッジの看板が目に入る。お年寄りなどはこの辺

りをマツチ工場跡と言う。フーラムビレッジの入り口と反対側におしゃれな建物が建っている。ここが「モモカフェ」

momo cafe 店長のモモがお迎え、美味しいケーキやクッキーを食べながら至福の時間を過ごすことができる。

決まった時間にやってくるエゾリスに会えると、

その日はとても幸せな一日になる事間違いなし。「遠くは関西からヒコキを利用して訪れる方もいらっしやるんですよ」とお話をしてくれるのは、いつもニコニコしていて元気いっぱい店主、外山未来さん。

写真集「りすが遊びにやってくる森のCafeの12ヶ月」も大人気だ。地場で収穫した季節の果物や木の実を確かな技術で美味しく食べることができるmomo cafe。

厚真に至福の空間が一つ生まれた。
営業時間 11時〜日没
定休日 火曜日
電話番号 0145(29)7020
店主 外山未来さん